

米軍、Red Hat Open Innovation Labs で フライト・スケジューリング・システムを構築



業種
政府機関

米軍は、陸軍、海兵隊、海軍、空軍、沿岸警備隊で構成されています。

課題

米軍は、Defense Innovation Unit (DIU) を通じた取り組みとして、先進的で効率的な開発手法を使用して新しいソリューションを作成することにより、飛行隊の作戦のスケジューリングと、海兵隊のパイロットと搭乗員の飛行訓練体制を改善したいと考えていました。

イノベーションへの道のり

DIU は、Red Hat® Open Innovation Labs と連携し、「人」を中心に据えた設計を学ぶための参加型ワークショップを実施しました。最初のフェーズでは、Red Hat のエキスパートと海兵隊の参加者が連携して新しいフライト・スケジューリング・システムを作成するための戦略の定義と検証を行いました。その際のアクティビティは、ユーザーファーストのデザイン思考とリーン製品開発手法に焦点を当てたものでした。

次のフェーズでは、空軍の参加者と Red Hat が、DevSecOps と継続的デリバリー (CD) のアプローチでサポートされる新製品の最初のデモバージョンを開発しました。各チームは Red Hat と緊密に連携して、OpenShift® でのマイクロサービスの作成や実行など、オープンでコラボレーティブな文化やオープンソース・テクノロジーに関する専門知識を醸成しました。

ビジネス上の成果

Open Innovation Labs への参加後、空軍のチームは新しいフライト・スケジューリング・システムである Puckboard の構築へ向けて、独自に実用最小限の製品 (MVP) の設計、検証、構築を継続しました。また、既存の DevSecOps ツールと継続的デリバリー (CD) パイプラインを統合して、この新しいソリューションのセキュリティスキャン、テスト、デプロイを自動化しました。

「Open Innovation Labs は、エンドユーザーとそのニーズの基本的な理解を確立し、それらのニーズを満たすために必要なソフトウェア開発スキルを国防総省が確実に得られるようにすることで、他のアプローチが失敗する可能性がある場合に国防総省が困難な問題を解決できるよう支援します」

redhat.com/ja/success-stories



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

Red Hat
Red Hat Open Innovation Labs グローバルシニアディレクター
Mike Walker (マイク・ウォーカー)